

# 日本語教科書における「ましょう」の導入について

## —使用実態の視点から—

東條 和子  
桜美林大学

### 要旨

「ましょう」には、推量、意志、誘いかけの用法がある。誘いかけの用法は、初級の教科書の中でも比較的最初のほうで、例えば『みんなの日本語初級』では第6課<sup>1</sup>で、導入されているが、推量と意志の用法は導入されていない。他の初級教科書でも同様である。しかしながら、コーパスを使用し、「ましょう」の使用実態を調査した結果、意志の用法が相対的に多いということが分かった。

本稿では、最初に挙げた「ましょう」の分類について検討する。その上で、既存の初級日本語教科書を調査し、「ましょう」導入の問題点を整理する。そして、コーパスからの発話データを通して明らかになった使用実態に基づいて「ましょう」の授業への導入順序及びその方法を論じ、より実態に近い文型の導入を目指すものである。

【キーワード】 ましょう、推量、意志、誘いかけ、コーパス

## 1 「ましょう」の分類

最初に挙げた「ましょう」の推量・意志・誘いかけの用法を、主体が誰か、聞き手が関わるかどうかにより、さらに細分化し、5分類とした。聞き手が関わるかどうかは、文脈によっても変わってくる。

- ① 推量：主体には人称制限がない。やや古めかしい言い方である。
  - (1) これが続けば、いずれ反感を抱く者が増えましょう。<sup>2</sup> (木曾義仲)
- ② 意志 1 (意志表示)：主体は話し手である。発話者の意志を表し、独り言やそれに近い場面に使用される。
  - (2) 一休みしてから、また食べることにしましょう。(三毛猫ホームズの幽霊クラブ)
- ③ 意志 2 (申し出)：主体は話し手であり、聞き手に対する申し出になる。
  - (3) ホームのところまで送りましょう。(渡辺淳一全集)
- ④ 誘いかけ 1 (誘い)：主体は聞き手と話し手である。
  - (4) そう、それでは、行きましょう。(長輝少年の戦争)
- ⑤ 誘いかけ 2 (助言・勧告・指示)：主体は聞き手である。多人数の場合もある。
  - (5) 今日の運勢は絶好調！積極的に動きましょう。(yahoo!知恵袋)
  - (6) さあ、給食です。手を洗いましょう。(作例)

以下【表1】にまとめた。

【表1】「ましょう」の分類

	主体	聞き手
推量	人称制限なし <sup>3</sup>	有 <sup>4</sup>
意志1 (意志表示)	話し手	無
意志2 (申し出) <sup>5</sup>	話し手	有
誘いかけ1 (誘い)	話し手と聞き手	有
誘いかけ2 (助言・勧告・指示)	聞き手	有

誘いかけ1の用法は、誘いかけ本来の用法であり、主体は話し手と聞き手双方である。一方、誘いかけ2は、(6)の指示を表す文のように、話し手が主体に含意される振りをしながら、相手だけを動かす表現であると考えられる。意志1→意志2→誘いかけ1→誘いかけ2と、用法が拡張していったと考えられる。

## 2 先行研究

「ましょう」の先行研究として、姫野(1998)、安達(2004)がある。

姫野(1998)は勧誘表現として「しよう」「しようか」「しないか」を取り上げ、各々の特性を観察し、勧誘表現が行為指示型表現および意志表現との関連においてどのような位置を占めるかを検討している。「「しよう」「しようか」では、一人称の意志の用法に二人称を取り込むところから勧誘の用法が派生した…」と述べている。丁寧体の「ましょう」に関しては、普通体の「しよう」で代表させるとしているところから、「しよう」の丁寧な表現としての「ましょう」も、意志用法から勧誘の用法が派生したと言える。

安達(2004)は、「「しよう」は話し手の意志を表すのが基本的な意味でありながら、聞き手を行為者に組み込んでいくことによって勧誘といった解釈をもつように機能を拡張していく。」(p18)と述べている。また、「話し手への伝達を表さない非対話的な性格から対話において用いられる用法、さらに話し手が遂行中の行為に聞き手を誘い込もうとする勧誘の用法がある。」(p19)と述べ、行為者のあり方が機能拡張の鍵になると述べている。

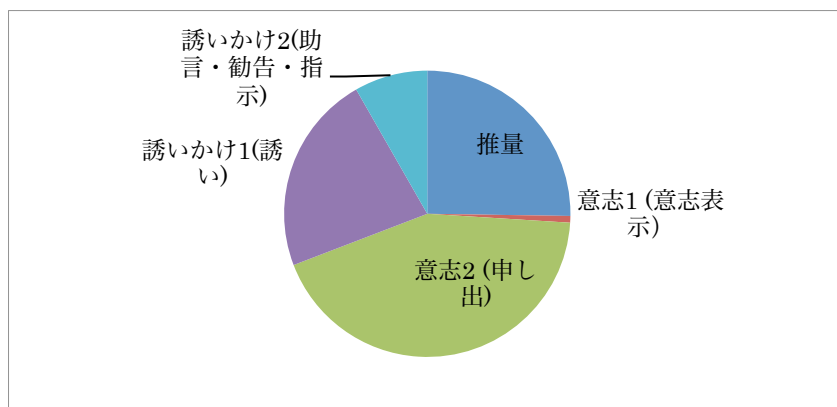
## 3 使用実態

### 3.1 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)

資料はBCCWJから、特に会話の部分から「ましょう」が出現する用例を調査した。総データ数は942件<sup>6</sup>である。

【表2】「ましょう」の5分類による出現数

	推量	意志1 (意志表示)	意志2 (申し出)	誘いかけ1 (誘い)	誘いかけ2(助 言・勧告・指示)
yahoo!知恵袋	0	0	4	3	11
国会議事録	0	0	0	0	3
書籍	232	7	398	207	77
白書	0	0	0	0	0



【図1】「ましょう」の5分類による出現数

【表2】【図1】を見ると、意志の用法では、意志1の用法（意志表示）は少なく、意志2の用法（申し出）が多い。「ましょう」は丁寧表現なので、聞き手が存在しない場面、つまり独り言の表現に使われることは少ないと考えられる。一方、誘いかけに関しては、誘いかけ2の用法（助言・勧告・指示）より誘いかけ1の用法（誘い）が多い。また、古めかしい言い方である推量もかなり出現している。これは書籍からの用例が多いからであると思われる。

また、「ましょう」を含む動詞句を調査したところ、意志2の用法は「いたしましょう」が一番多く56例、次に「てあげましょう」で25例であった。誘いかけ1の用法では「行きましょう」が圧倒的に多く65例であった。推量、意志1、誘いかけ2の用法では前接する動詞に特に傾向が見られなかった。

### 3.2 『女性のことば・職場編』『男性のことば・職場編』

異なるデータとして、『女性のことば・職場編』と『男性のことば・職場編』から用例を取集した。発話数は、『女性編』が11,421例、『男性編』が11,099例であった。その中で「ましょう」の出現数は『女性編』が29例、『男性編』が8例であった。

【表3】『職場編』における「ましょう」の出現形態

後接	とか	か	って	よ	ね	言い切り	合計
女性編	0	15	2	3	1	8	29
男性編	1	3	1	2	1	0	8

総データ数に対する「ましょう」の出現数が、BCCWJより極めて少なく、女性編のほうが男性編より多い。言い切る例は男性編では見られず、女性編で8例であった。その8例の内訳は、(7)のような意志2の用法が4例、(8)のような誘いかけ1の用法が4例であった。

(7) あの一 1を選択してみましょう。<sup>7</sup>

(8) さあ、食べましょう。

## 4 日本語教科書における「ましょう」の導入

『みんなの日本語初級』の他に7冊の日本語教科書を調査した結果は以下の通りである。

『新文化初級日本語 I』（新文化）第 15 課 <不動産屋にて>

- (9) 敬子 : じゃあ、この部屋を見せてください。  
不動産屋 : わかりました。では、見に行きましょう。  
誘いかけ 1 の用法である。

『進学する人のための日本語初級』（進学）第 13 課

- (10) あした映画を見に行きませんか。  
ええ、行きましょう。  
「ませんか」の返答として、誘いかけ 1 の用法の「ましょう」が導入されている。

『日本語初級 2 大地』（大地）第 8 課 <パーティーで人を誘っている>

- (11) いっしょにうたいましょう。  
誘いかけ 1 の用法である。

『初級日本語 げんき』（げんき）第 5 課 会話

- (12) ロバート : わあ、きれいな海！  
けん : 泳ぎましょう。

誘いかけ 1 の用法で、同じ会話の中で「ましょうか」も導入されている。文法説明のところに、「ましょう」は「Let's~」、「ましょうか」は「Shall we~」の英語訳が載っている。

『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE Revised 3<sup>rd</sup> Edition』（Busy）Lesson15 INVITATIONS

- (13) かとう : スミスさん、こんしゅうの どのようびに あさくさで おまつりが あります。いっしょに いきませんか。  
スミス : いいですね。いきましょう。なんで いきましょうか。  
かとう : ちかてつで いきませんか。  
スミス : そうしましょう。…

INVITATIONS（勧誘）として、「ましょう」「ましょうか」「ませんか」をまとめて導入している。「ましょう」は誘いかけ 1 の用法で導入されている。

『日本語 5 つのとびら TOBIRA—初級編 1—』（とびら）Topic 10 <At the Clinic>

- (14) かんごし : どうしましたか。  
リー : 今朝から、あたまが痛くて、はきけがするんです。  
かんごし : ねつはどうですか。  
リー : あります。  
かんごし : はかってみましょう。  
リー : はい。

文法説明に、「~ましょう is used when a person offers to do something.」と書かれている。意志 2 の用法で導入されている。誘いかけ用法はこの教科書でも、同じシリーズの初級編 2 でも取り上げられていない。

『初級 日本語』（東外大）4 課 <りょう>

- (17) さとう : わたしは あした しんじゅくの こうえんへ いきます。  
あなたも いっしょに いきますか。  
マナ : はい、いきます。なんじごろ いきますか。  
さとう : あしたの あさ 9 じごろ いきましよう。

誘いかけ 1 の用法で「ましよう」だけが取り上げられている。

「ましよう」の導入方法を示すと以下のようなになる（数字は導入課の番号）。

【表4】「ましょう」の初出の用法、課、方法

	みんな	新文化	進学	大地	げんき	BUSY	とびら	東外大
意志2	×	×	×	×	×	×	10	×
誘いか け1	6	15	13	8	5	15	×	4
導入方 法 <sup>8</sup>	ませんか	単独	ませんか	単独	ましょう か	ませんか ましょうか	単独	単独

【表4】より、

- ① 8冊の教科書のうち、誘いかけ1の用法での導入が7冊、意志2の用法での導入も1冊（『とびら』）ではあるが見られた。推量の用法、意志1の用法、誘いかけ2の用法での導入は見られなかった。推量の用法に関しては、BCCWJの会話部分からの用例は、ほとんどが歴史小説からの用例であったことを考えると、初級の段階では特に導入する必要はないと思われる。
- ② 全て初級教科書で初出している<sup>9</sup>。
- ③ 導入方法は、教科書によって様々である。

## 5 問題点の整理と考察

- ① 「ませんか」とペアでの導入： 「ませんか」の返答としての「ましょう」だけが定着する可能性があるため、ペアでの導入は避けたほうが良いと思われる。<sup>10</sup>
- ② 学習者への意志2の用法の未定着： 調査した結果、意志2の用法が一番多かったことから判断し、意志2の用法を導入し、定着させることが大切であると考えられる。
- ③ 場面設定の不足： 特に話し手と聞き手の上下関係がわかりづらいと「ましょう」の導入は難しいと思われる。下位者は上位者に対して、申し出や誘いかけ、意志決定をしてはいけないなどの配慮表現の問題に、抵触する恐れがある。

## 6 初級学習者への導入の仕方提案

以上の調査結果を踏まえて、

- ・初級学習者には、実際の使用例の多さから判断し、意志2の用法から導入する。
- ・まとまった会話例など、話し手と聞き手の関係がわかるような場面設定で導入する。

の2点を提案する。使用している教科書が誘いかけ1の用法での導入であった場合は、補足として意志2の用法も紹介することを提案する。

「ましょう」は基本的な形であるため、かなり早い段階で導入されてきていると考えられるが、教科書で取り上げられている用法だけでなく、その後をどうするか、教える側が意識して代替案や修正案を考え、補足していくことが必要であると考えられる。

## 7 おわりに

本稿では、教育現場と使用実態に沿った「ましょう」の導入方法を探ってきた。さらに

今回調査した以外のコーパスから用例を収集し、調査を重ねていく。また、意志2の用法を導入する授業を行い、その後の定着の様子を含めた実践報告を今後の課題としたい。

- 
- <sup>1</sup> いっしょに ビールを 飲みませんか。…ええ、飲みましょう。(みんなの日本語初級)
  - <sup>2</sup> ゴシック体は筆者による。
  - <sup>3</sup> 二人称でも現れることがある。例文：あなたはこのままいけば病気になりましょう。(作例)
  - <sup>4</sup> 「ましょう」は「しよう」の丁寧な表現である。「ましょう」は常に聞き手を意識した文脈に使われるが、独り言のように聞き手を想定していない場合もある。
  - <sup>5</sup> 聞き手が存在する場合は聞き手へ行為が及ばなくても意志2に含める。
  - <sup>6</sup> 「でござい(り)ましょう」「でありましょう」を除く。
  - <sup>7</sup> 話し手がその操作を行うことを決意する場面である。
  - <sup>8</sup> 「ませんか」表示は「ませんか」とペアでの導入、「ましょうか」表示は同じ会話内での「ましょうか」の導入を表す。「単独」は同じ会話内に関連した文型が提出されていないケースである。
  - <sup>9</sup> 「ます形」が導入された後、「ましょう」「ませんか」「ましょうか」は、形を作るのが簡単なので、比較的最初のほうの課で導入されると考えられる。また、『みんな』のような文型シラバスの教科書では、既習語彙が少ない時に取りあえずその課で導入できる文型を入れていく方法を取っていると思われる。
  - <sup>10</sup> BCCWJで「ませんか」に対する「ましょう」の返答というペアでの用例は下記の1例のみであった。「檀さん、洛陽に行きませんか?」「行きましょう」「すぐにですよ」(書き出し美術館)

## <参考文献>

資料・調査対象教科書

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(2009) (BCCWJ) 国立国語研究所.

『女性のことば・職場編』(1997) ひつじ書房.

『男性のことば・職場編』(2002) ひつじ書房.

『みんなの日本語初級 I』(2011) スリーエーネットワーク.

『新文化初級日本語 I』(2008) 文化外国語日本語学校.

『進学する人のための日本語初級』(2009) 日本学生支援機構東京日本語教育センター.

『日本語初級2大地』(2009) スリーエーネットワーク.

『初級日本語 げんき』(2011) ジャパンタイムズ.

『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE Revised 3<sup>rd</sup> Edition』(2008) 講談社インターナショナル株式会社.

『日本語5つのとびら TOBIRA—初級編1—』(2009) 立命館アジア太平洋大学.

『初級 日本語』(1992) 東京外国語大学留学生日本語教育センター.

『初級 日本語文法と教え方のポイント』(2005) スリーエーネットワーク.

参考文献

庵功雄(2009)「推量の『でしょう』に関する一考察—日本語教育文法の視点から—」,『日本語教育』142号,日本語教育学会.

菊池和人,安達太郎,野田春美,高梨信乃(2004)『新日本語文法選書4 モダリティ』くろしお出版.

姫野伴子(1998)「勧誘表現の位置—『しよう』『しようか』『しないか』—」,『日本語教育』96号,日本語教育学会.